

ご自由にお持ち下さい。

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

najyodasu なじょだす

Vol.67

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

盛岡赤十字病院広報誌 vol.67

【なじょだす】(岩手の方言)

相手の健康を気づかうなど、「いかがですか」の意味。
当院のシンボルツリーのコナラの木は、正面玄関前にそびえ立ち、
訪れる人々に「なじょだす」と語りかけているかのようです。



令和6年度 盛岡赤十字病院 入社式

研修医7人含め37人が新しく入社しました！
よろしくお願いします！

特集

院長 新年度挨拶
事務部長 就任挨拶

● 地域医療連携室よりお知らせ
連携医療機関のご紹介

- 養育支援チーム (CPT: Child Protection Team) の紹介
- 悪性リンパ腫について
- 離任式を執り行いました
- **連載** 医訪人 医療技術部 栄養課



令和6年の春を迎えて

院 長 久保直彦

本年は正月早々に能登半島地震が起きて、多くの方が犠牲になり被災されました。心よりお悔やみ、お見舞い申し上げます。当院は、これまで医療救護班、病院支援看護師、こころのケア要員を派遣するなど、東日本大震災で全国から支援を受けた被災県の赤十字病院として積極的に医療支援を行ってきました。要請のある限り継続支援し復興の一助になりたいと思います。

さて、4月には医師、研修医、看護師、事務職など多くの新入社員を迎えます。皆様とともに大きく育てていきたいと思いますのでよろしくご指導をお願いします。また、いわゆる医師の働き方改革が始まります。私どもは医師のみならず病院全体の働き方改革と考えております。これは単に労働時間を少なくするため医師の診断・治療をより行いやすくするだけでなく、今の医療は一人の患者さんに多くの職種、多くのチーム、医療資源が関わり診療していますので、各部署が医療レベルや仕事効率を上げて、なにより患者さんが安心して外来受診や入退院が不安なくよりスムーズにできるような改革にしていきたいと思います。皆様からのご意見を機会あるごとにいただければ幸いです。

さて、新年度早々に高性能の3T（テスラ）MRI（核磁気共鳴診断装置）が稼働します。これまでの機器より微細な画像を診ることができますので、前立腺がん、乳がん、脊髄や脳疾患の診断などでより正確な診断が可能となります。また、患者さんの中には閉所や暗いところに長い時間いられない方がいますが、それを少しでも解消するために県内でも初めてスカイシーリングとテスラビジョンという装置を取り入れました。これにより検査室が明るくなり、どこかのリゾート地にいるような気分にしてくれますし、機械の中にも動画を写して検査への怖さを和らげようとするものです。検査時間も短くなりますので、これまで撮ることが難しかった患者さんでも可能になるかもしれません。検査を希望される方は各診療科や放射線科に問い合わせください。今後ともハード、ソフトの両面から患者さんに優しいこころ温まる病院を目指していきたいと思います。

事務部長就任挨拶

事務部長 赤平寛彦

このたび、4月1日付にて事務部長を拝命しました赤平寛彦と申します。

1月1日に発生しました「能登半島地震」において犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された多くの皆さま方に対しお見舞いを申し上げます。また、一日も早く復旧・復興がなされますことを、心よりお祈り申し上げます。

当院では、「能登半島地震」に、日赤救護班5班、医療コーディネーターチーム2班、こころのケア班1班を派遣し、被災地の避難所の巡回診療や衛生環境管理など被災地の医療機関の機能が回復するまでさまざまな活動に従事してまいりました。今後も大規模災害が発生した場合は、被災された方々の力となれるよう医療救護活動を続けてまいります。

過去3年にわたり猛威を振るった新型コロナウイルス感染症ですが、昨年に「5類感染症」へと移行され、ポストコロナ時代に向け、大きく流れが変わろうとしています。その社会変化の中でも、当院が医療を提供している患者さんの多くは高齢者であり、重症化や基礎疾患の悪化などのリスクを有しております。当院では、引き続き基本的な感染対策を徹底し、患者さんとそのご家族にとって安心かつ安全な医療を提供してまいります。

当院の理念である「私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します」のもと、地域の皆様に愛される病院づくり、より地域に密着した病院づくりに全力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

子どもを虐待から守る！

養育支援チーム (CPT: Child Protection Team) の紹介

児童虐待は社会において深刻な問題となっており、残念なことに児童虐待の件数は毎年のように過去最多を更新しています。昨年4月にはこども家庭庁の創設と同時に、こども基本法が施行されました。その中でも児童虐待から子どもを守ることは重要な施策の一つとなっています。医療機関は虐待の予防と早期発見の役割を求められることから、これまでの虐待対応をより強化するために、当院では昨年6月に養育支援チーム (CPT: Child Protection Team) を発足し、活動を開始しています。

CPTのメンバー小児科医師、産婦人科医師、看護師、社会福祉士で、児童相談所や市町村との連絡調整を図ることにより、外来や入院中だけでなく、地域で子どもや家庭のサポートを形成していきます。

しかし一つの医療機関で問題を全て把握し、解決していくことは困難です。複数の医療機関を受診している場合もあり、保育園・幼稚園、学校でもなにかサインを発しているかもしれません。地域の皆さんと虐待の予防と早期発見のため、情報や支援方針を共有して子どもたちの安全や安心を守る支援の輪を広げていくことが必要だと考えていますので、より強い連携を図っていききたいと思います。

小児科医師

養育支援チーム

産婦人科医師

看護師

社会福祉士



児童相談所

市町村

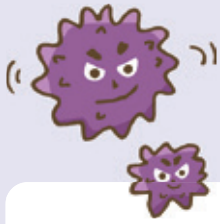
地域で子どもや家庭のサポート

(養育支援チーム)

— 血液の病気 —

悪性リンパ腫について

第一血液内科部長 峯 貴浩



悪性リンパ腫は、白血球のうちリンパ球ががん化する病気です。悪性リンパ腫は、100種類以上の病気のタイプがあり、がん細胞の形態や性質によって経過や治療方法が異なります。新たに診断される方は、年間人口10万人あたり29人ほどと言われており、血液のがんの中で最も多いがんになります。

症状は、首や腋（わき）の下や足の付け根などのリンパ節が腫れます（2 cm以上）。多くの場合は、痛みを伴わない腫れです。ただし、急速に腫れが大きくなる場合は、痛みを伴う場合があります。このようなリンパ節の腫れを認め、悪性リンパ腫かもと思われる方は、当科へご相談ください。

診断は、画像検査（CT検査やPET検査など）にて生検（腫れているリンパ節などの病変組織を採取する検査）出来る部位を確認し、生検を行い病理検査（生検で採取された組織や細胞から顕微鏡標本を作り、病理医が観察し診断する検査）にて診断されます。

治療に関しては、薬物療法・放射線治療・造血幹細胞移植（65歳以下の方が対象）などがあります。ただし、治療の中心は主に薬物療法になります。薬物療法は、悪性リンパ腫の種類により異なりますが、一回の治療に約3～4週間必要とし、その治療を6～8回と複数回行います。

当院では、造血幹細胞移植以外の治療を行えます。造血幹細胞移植が必要な方は、岩手医科大学附属病院や岩手県立中央病院へ紹介させて頂いております。



痛みのない リンパ節の腫れ

- くび（頸部^{けいぶ}から鎖骨の上）
- わきの下（腋窩^{えきか}）
- 足の付け根（鼠径部^{そけいぶ}）など

悪性リンパ腫以外にも、血液疾患のことでお困りのことがあれば、当科へお問い合わせください。



地域医療連携室よりお知らせ

地域を
結ぼう

■連携医療機関のご紹介

佐藤 健^{けん}レディースクリニック

当院は、2007年10月の開業以来、分娩を取り扱わない婦人科一般診療を行っております。

子宮頸がん検診や予防接種（子宮頸がん、インフルエンザ、風しん麻しん）も行っております。赤十字病院（以下、病院）は、勤務した経験のある身近な病院です。日頃より産婦人科以外にも、CT、MRIは放射線科に、診断に悩む場合は各科にお世話になっております。

ただ、病院は、働き方改革に対応しなければならない状況と聞いております。今後、病院での主たる治療終了後に当院ができることがあれば、医療連携に協力してまいりたいと思っております。



院長
佐藤 健 先生

- 〒020-0836 岩手県盛岡市津志田西2丁目13-83
- TEL : 019-658-8222
- <https://www.satoken-ladies-clinic.com/>
- 外来診療時間（月曜日～土曜日）
受付時間 午前 9:00-12:30 午後 2:30-6:30
※水・土：午後休診／診療は13:00まで 日・祝祭日：休診



離任式を執り行いました



令和6年3月29日に離任式を執り行いました。計39名がご退職され、そのうち3名の研修医が当院での研修を終了し巣立っていかれました。これまでの皆様のご尽力に感謝し、新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



離任式にご参加してくださった皆様



（総務課）



医療技術部 栄養課 栄養課長
藤原 真希子

こんにちは、医療技術部栄養課栄養課長の藤原です。栄養課は患者さんの栄養と食事に関する全般を担っている部署です。患者さんの栄養管理は私を含め3人の管理栄養士が行っており1人3～4病棟を担当しています。患者さん個々の身体状況、栄養状態、食事摂取状況等を確認し適切な栄養が提供できるよう努めています。また、それぞれがカンファレンスやチーム活動に積極的に参加し多職種とコミュニケーションをとることで栄養についての相談も多くなり、患者さんの栄養状態や食事摂取の変化に早期に介入できるようになっていると思います。栄養指導は臨時管理栄養士1名が担当し入院中又は退院後の食事管理について患者さんの生活スタイルに寄り添った指導を心掛けて行っています。

入院患者さんのお食事は令和元年4月より委託給食会社へ業務委託し提供しています。栄養管理された安心・安全な食事提供を基本とした上で、不安な入院生活を少しでも癒し、ほっとできるひと時が「食事」であってほしい。と私達栄養管理スタッフと給食委託会社スタッフと想いを一緒に日々意見交換しながら取り組んでいます。栄養管理をする上で「食事」は「治療の一環」と言われているようにとても大切です。食事摂取量が安定することで笑顔が増えていく患者さんをみてきました。臨床現場における管理栄養士に求められる業務はここ数年で大きく変化しています。栄養管理を重視するだけではなく、「入院して何が楽しみだって・・・やっぱり食事だよ」という食べる喜びを口々に話す患者さんからの期待の言葉に応えられるよう、職種間の連携を深め、より患者さんへの貢献度の高い栄養管理と食事提供ができるよう今後も日々努力していきたいと思っています。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

盛岡赤十字病院

〒020-8560

岩手県盛岡市三本柳6地割1番地1

Tel.019-637-3111 Fax.019-637-3801

広報誌「なじよだす」Vol.67 令和6年4月1日発行

編集／発行 盛岡赤十字病院広報委員会

藤原 純、川村美奈子、田中 陽子、富岡 幸子
梅村 景太、本田 苑佳、菅原 陽介、寺尾 優紀
板橋 亨一、齊藤 純子

盛岡赤十字病院

検索